

# 「希望郷いわて」農業・農村の復興に向けて

## 「農地・農業用施設の復旧状況と下野地区（大槌町）の概要」

■岩手県農林水産部農村計画課・農村建設課

岩手県では、本格復興期間の最終年度となる平成28年を『本格復興完遂年』と位置づけ、引き続き「復興第一」に取り組んでいくこととしています。

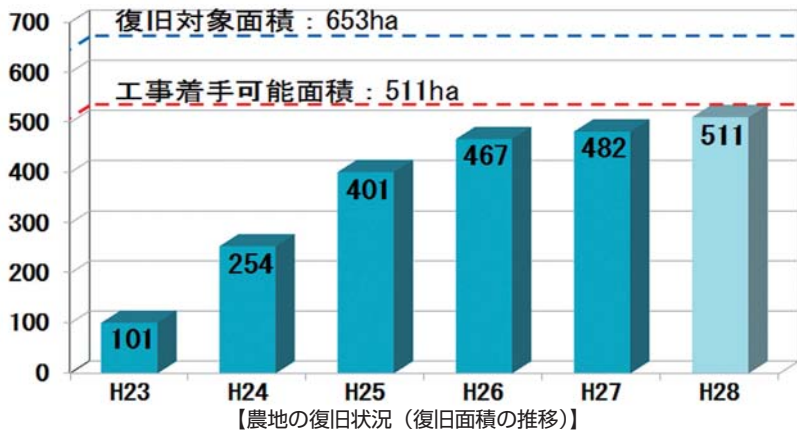
本稿では、沿岸被災地域における農地・農業用施設の復旧状況と、「大槌町下野地区」における農地復旧の取組の概要を紹介いたします。

### 農地の復旧状況

本県が現在取り組んでいる「復興実施計画第2期」においては、沿岸部の農地の復旧対象面積653haのうち、復旧に向けた合意形成が整い工事着手可能となった511haを対象に復旧を推進しており、平成28年度末までには、511ha全ての復旧を予定しています。

残る142haについては、まちづくり事業など市町との調整

が終わりしだい、平成29年度までに復旧対象面積を確定し、他事業との調整がある一部を除き、平成30年度までの復旧完了を目指しています。



### 農地海岸保全施設の復旧状況

本県には、背後の農地を守る海岸堤防が10か所あります（総延長約3.6km）。

今回の東日本大震災津波により、4海岸で全壊、2海岸で一部損壊、合計6海岸の約2.1kmの堤防が被害を受けました。

また、全ての海岸で地盤沈下（0.1m～1.5m）が発生し、堤防高さが不足することから、10海岸全てにおいて堤防の復旧を実施しています。

平成27年度末までに3海岸で工事が完了、平成28年度末までには更に3海岸で工事が完了する見通しです。

また、堤防に付帯する水門などのについては、緊急時の操作員の安全を確保するため、「無動力化」や「遠隔操作化」の導入

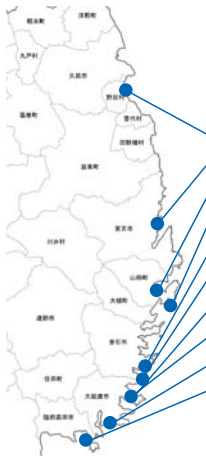


【合足（あたり）海岸  
【大船渡市】で工事了】

を進めています。  
 県では、沿岸地域の安心・安全な暮らしを守るため、引き続き、農地海岸保全施設の復旧を推進していきます。

海岸名	市町村	被害状況	概算事業費 (百万円)	構造	工事完了 (予定)
野田	野田村	沈下	52	直立堤(原形復旧)	H24
宮古大沢	宮古市	沈下	498	既存+傾斜堤	(H28)
浦の浜	山田町	全壊	2,456	傾斜堤	(H29)
小谷鳥	山田町	全壊	1,625	傾斜堤	(H28)
小郷	釜石市	沈下	1,223	既存+傾斜堤	(H29)
下荒川	釜石市	一部損壊	3,305	傾斜堤	(H29)
沖田	大船渡市	沈下	70	護岸堤(原形復旧)	H25
吉浜	大船渡市	全壊	2,567	傾斜堤	(H28)
合足	大船渡市	一部損壊	1,680	直立堤	H27
小友	陸前高田市	全壊	4,174	傾斜堤	(H29)

【農地海岸保全施設の被害状況と復旧工事の予定】



## 下野地区(大槌町)の概要

東日本大震災津波により甚大な被害を受けた大槌町の下野地区7.0haの農地は、震災後、ガレキ処分場として使用され、復旧工事ができない状況でした。その後、平成26年3月に処分場としての使用が終了したことから、将来の土地利用に関する地元等との具体的な調整を経て、都市計画区域であった農地について農業振興区域に指定変更を行ない、農地復旧が動き始めました。

震災以前の下野地区は、大部分が8a程度の小区画で、農道幅員も2.0mと狭小なため、農業機械の有効利用や農産物の搬出に支障を来し、また、水路は用排兼用の土水路が多く、維持管理に労力を要していました。そのため、本地区の復旧に当たっては、原形復旧にとどまらず、将来の営農体制を見据え、**営農**

維持管理等の省力化とともに、農業経営の安定化を図ることを目的に、「**区画拡大等を行う「ほ場整備事業」**」を導入することとしました。

平成27年9月に工事着手し、**今年の5月には面工事が終了。営農が再開された農地のうち1.6haでは酒米が作付けされ、その酒米は、地元の酒造会社により、日本酒へと生まれ変わる予定です。**

**今年の9月の権利者会議では、無事換地計画が承認され、**今後は、完了に向け暗渠排水工事等を進めます。

県では、**生産性の高い農業の実現**を目指し、これからも地域の取組を支援していきます。

**フェイスブック「いわてNN復興だより」**  
 本県の被災農地等の復旧・復興状況を情報発信しています。「いいね!」をお願いします!



【平成28年秋 復旧後の初稲刈り】  
 (大型機械の導入が可能になった)



【平成28年夏 権利者会議】  
 (換地計画について承認された)